

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 12 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	ご本人が大切にしてきた場所や、家庭や家族とのかかわりに偏りが見られるようになってきた。	入居者の意向を大切にし、基本は家族である事を気に留め、家族への面会の依頼や、自宅への帰省などをして頂く働きかけを行う。	一年のうちに各入居者の馴染みの場所や、自宅への帰省を年間計画に取り入れて行く。偏りがないように面会の少ない方には声かけをする。	12ヶ月
2	40	自立度が高くなってきたが、入居者の買物外出の機会が減ってきている。 社会参加や地域の方とのつながりを深めて行く活動をする。	買物には時間をかけて一緒に行けるように計画する。	食材の買物と一緒にいく機会を増やす。 ご近所の方に触れ合えるように近所の散歩を取り入れる。 お盆やお正月の買物外出を計画し出掛ける。	6ヶ月
3	36	入浴は、現在昼間を中心として行っているが、夜間不眠の方がいらっしゃるため、就床前の入浴を行ってはどうかと思われる。	不眠が続く方は、就床前に入浴をして頂き、温まってリラックスして就寝出来るようにしていく。	不眠の報告があったら、翌日には夜間就床前に入浴をして頂く。入浴される日は、夕食後行っていた業務で入居者を対象としない茶碗洗い等は、時間を変更して入浴される方を優先した計画で対応する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。